

平成30年度第2回成田市行政改革推進委員会会議結果概要

1 開催日時

平成31年3月5日（火） 午前10時から10時50分まで

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 行政棟3階 第二応接室

3 出席者

（委員）

渡邊義本会長、久野直衛副会長、芦澤博委員、新井とみ子委員、齊藤利明委員、佐久間三智子委員、高木木津枝委員、塚田和佳子委員、宗藤睦夫委員、諸岡靖彦委員

（成田市）

野村総務部長

事務局（行政管理課）野村課長、北見係長、高岡副主査

4 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 席次
- ・ 成田市行政改革推進委員会委員名簿
- ・ 成田市行政改革推進計画（2019（平成31）～2021（平成33）年度）の策定について（答申案）
- ・ 資料1 答申（案）修正箇所一覧
- ・ 冊子 成田市行政改革推進計画（2019（平成31）～2021（平成33）年度）（案）
- ・ 資料2 取組項目追加・修正一覧

5 議題

（1）成田市行政改革推進計画（2019（平成31）～2021（平成33）年度）の策定について

6 議事（要旨）

前回の会議（平成31年1月30日）で諮問のあった成田市行政改革推進計画（2019（平成31）～2021（平成33）年度）の策定についての答申を決定するに当たり、前回の会議での意見等を踏まえて作成した答申案の内容について、委員の意見交換・協議が行われた。主な意見等は次のとおりである。

答申案の本文について

- ・1行目の「本年5月1日は新たな元号を迎えることとなります。」は、「本年5月1日には」とし、「平成の世も早いもので30年が過ぎ」を「平成の世も早や30年が過ぎ」としてはどうか。また、2行目の「小泉市政も4期目を向え、」の「むかえ」は、「迎え」ではないか。
→ご指摘のとおり修正する。
- ・4行目の「市政運営に取り組んでこられたことと思います。」は、「市政運営に取り組んでこられました。」としてはどうか。
→ご指摘のとおり修正する。
- ・4行目の「国民的イベント」は、一大イベントであることを強調しているので、「国民的一大イベント」としてはどうか。
→ご指摘のとおり修正する。
- ・22行目の「今後の多様な行政ニーズに対応した」とあるが、他は市民ニーズなのに、ここだけなぜ「行政」なのか、理由を教えてください。
→市民ニーズに統一する。
- ・28行目の「市民の視点に立った行政サービス」とあるが、色々な立場の視点に立ったという意味で、市民の前に「様々な立場の」を加えてはどうか。
→ご指摘のとおり修正する。
- ・31行目の「今後の成田市の行財政運営において有効である」とあるが、「有効である」という表現が、少しインパクトに欠ける。例えば「必要不可欠である」とか、もう少しパンチのある言葉の方が、本計画の重要性がより評価されるのではないか。
→ご指摘のとおり修正する。

I-① 市民との協働の推進 に関する附帯意見について

【附帯意見 I-①の1 について】

- ・文言を強くした方が良いのではないか。いつどこで災害が起こるか分からないので、「未曾有の災害が多発している中」の前に、「全国各地で様々な」を、また、「地域と行政が一つになって」の前に、「自然災害からの被害を最小限に留めるため」を加えてはどうか。
→ご指摘のとおり修正する。

【附帯意見 I-①の3、4 について】

- ・「成田にふさわしい質」とはイメージは付くのだが、「成田にふさわしい質」、「成田らしさ」とは具体的はどのような意味か。
→国際空港を擁していることもあり、国際性や参道の町並みなどの景観資産な

どを表している。

⇒国際都市である成田が、ほかの都市とは違い、先進的であるというイメージが欲しい。

⇒成田のアイデンティティを行政の中でも考えてもらいたい。

I-② 市民サービスの向上 に関する附帯意見について

【附帯意見 I-②の3 について】

- ・「質の高い施設を設置されたい。」とあるが、「施設の設置と運営に努められたい。」と、出来た後の運営が極めて大変だと思うので、「運営」という言葉を追加してもらいたい。

→ご指摘のとおり修正する。

I-④ 電子市役所の推進 に関する附帯意見について

- ・様々な手続きで電子化が進んでしまい、電子でしか出来ない申請などがあるが、ネットに携われない方々がいるため、電子化と従来のやり方を継続してもらいたい。

II-① 事務事業の見直し に関する附帯意見について

【附帯意見 II-①の2 について】

- ・「委託することで市の信頼が損なわれないよう」とあるが、「委託することで行政の信頼が損なわれないよう」と修正した方が良いのではないか。

→ご指摘のとおり修正する。

II-② 持続可能な財政構造の構築 に関する附帯意見について

【附帯意見 II-②の1 について】

- ・「winwin」という言葉は公的な文書で使うのにふさわしい文言なのか。
- ・「winwin」とするとしても、真ん中に「-」が入るのではないか。

→確認して修正する。

II-⑤ 効率的な組織・機構の構築 に関する附帯意見について

【附帯意見 II-⑤の1 について】

- ・「組織横断的な取組みにつなげる仕組みを構築されたい。」とあるが、実際仕組みとは、現実的に人との繋がりがあって初めて生まれると思う。市政全体に関わる行政課題について、課などで協議する場はあるのか。

→全庁的に関わる行政課題などでは、プロジェクトチームを庁内に設置し、課長レベルで構成される部会、部長レベルの協議会を設け、2段階構成で協議する組織を設けている。

行政改革推進計画の実効性を高めるために に関する附帯意見について

【附帯意見3 について】

- ・「量的業務を削減したことで得られる」とあるが、「量的業務」とは何を指しているのか。

→本市の行革の柱の一つである、簡素で効率的・効果的な行政運営（量の改革）を行うことで得た、物的・人的な削減効果を有効活用するという意味。例として、民間委託を実施した分の人的な資産を、政策形成部門等に再配置することで活用を図ることなど。

⇒説明されれば分かるが、このままでは、一般の方が分かりづらいのではないかと。言葉の前に、わかるような文言を加えて欲しい。

⇒民間委託の取り組みを表現しても良いのではないかと。今項目は、最終の結論的な、まとめの項目だと思う。実際に冒頭にあるように、過去の行政改革の成果は、質も量も、金額的にも大きく評価できるが、これらは全て行政自らが努力して、工夫してきた成果だと思う。これから先、同じような効果が、得られるのかということ、非常に難しい。これ以上進めた場合、市民への負担が増えたり、近隣のように、市内の分断化が起きたりと最悪の事態が起きる。計画の項目の一番目に協働という項目も謳われており、次のステップとして、市民との協力関係とか、もっと具体的に取組んでいく方向性が、表現されても良いのではないかと。

→両委員から頂いた意見を参考に修正する。

◎答申の決定について

答申については、今回の会議での意見等を踏まえ、必要な修正を行った上で、決定とする。なお、字句の修正等については、会長と事務局に一任とされる。

7 傍聴

傍聴者 1名